

保護者等向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2022年3月15日

事業所名 いぶき園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	プログラムや利用者さんの状態に合わせて、その都度机等の配置を変えて適切な環境で活動を行っています。 また、クールダウンが必要な方においては必ず個室が提供できる環境を設定しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	法定基準を上回った職員配置を維持し、濃密な関わりを心掛けております。また、いぶき園所属職員6名のうち有資格者を5名配置しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関に段差がありますが、現在の利用者さんの活動には支障はありません。今後、配慮が必要な方がご利用される際は、適宜環境の整備を行っていきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	他事業所との連携や保護者さんとの面談を通して、より細かなアセスメントが取れるように努めています。その後の職員会議にて、偏りのない支援計画を作成しています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	事業所の状況や利用者さんの状態を考慮して、個々に合わせた個別課題を用意しています。その場に合った適切なプログラムを柔軟に提供できる様、常に準備を怠りません。 また毎月の職員会議にて、活動の振り返りを行っています。

ハ	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	散歩や美化活動をする中で地域の方々と挨拶を交わし、交流をしています。
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	ご利用契約時に資料と共にお伝えしています。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	帰宅時や、モニタリングの際にご本人の様子をお伝えし、保護者様からも話を伺うことで共通理解を図っています。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	家庭での悩みや、関わり方等、個別に相談があった際には、その都度個別に時間を設けお話を伺っております。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	家庭での悩みや、関わり方等、個別に相談があった際には、その都度個別に時間を設けお話を伺っております。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付担当者を制定し、適切な対応を心掛けています。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	書面・写真カード・シンボルカード等の支援ツールを取り入れ情報伝達の為の工夫と配慮をおこなっています。

	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	月に一回お便りを発行し、活動の様子などをお伝えしています。
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	契約時に個人情報取り扱いの同意書を取り交わしております。 個人情報は鍵のかかる場所で保管し、廃棄をする際はシュレッダーに掛ける等、注意して管理しています。また、情報を無闇に外部へ持ち出さない取り組みも行っております。
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアルは策定し、玄関や事務所など常に確認できる場所に掲示してあります。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	月に1回の避難訓練・消火訓練、年2回通報訓練を行なっています。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	基本活動に基づきガイドラインに記入されている内容を複数組み合わせ、日常生活の機能向上から余暇の交友関係の促進まで、様々な支援を行っています。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	生活面・活動面・コミュニケーション面等において利用者さん一人ひとりのニーズや個々の課題・可能性を確認し、様々な視点で組み合わせ、偏りのないプログラムや企画を常に模索しております。